

## 「戦争法案とTPP参加に反対」

### いわぶち、森氏が釧根・十勝でキャラバン



水沼町長（左）とTPP参加反対で意見交換する、いわぶち、森両氏。手前は中村忠士町議＝6月9日、別海町

日本共産党のいわぶち友参院比例候補と森つねと道選挙区候補は6月9日から13日の5日間、釧根・十勝地域でキャラバンを実施しました。両候補は3市6町を訪れ、3市町役所（役場）、3農協、2漁協、報道機関7社（支社を含む）のほか、千島連盟など3団体で訪問・懇談をかさね、街頭宣伝9カ所、屋内演説会2会場、懇談会（つどい）4カ所を精力的にまわりました。

別海町の水沼猛町長は「TPPで町の打撃ははかりしれないが、我々の声は政府に無視し続けられている」と語り、JAおとふけの笠井安弘組合長は「TPPでは国民みんながダメージを受ける。国の形を変えてしまうものだという多くの人に理解してもらいたい」と話しました。

## サケ・マス漁業危機一市・町、漁協と懇談

ロシア200カイリ内の日本漁船のサケ・マス流し網漁の継続がロシア政府によって困難に陥っている問題で、いわぶち友参院比例候補と森つねと道選挙区候補は6月9日、根室市の根室漁協を訪れ濱松慧祐専務理事らと懇談しました。神忠志、鈴木一彦、橋本竜一の各根室市議が同席しました。

「サケ・マス漁がだめになれば漁師の確保が難しくなり、秋のサンマ漁もできなくなる」「ロシア海域から締め出されると、他の漁場の確保は難しい」と、かつてない厳しい状況に立たされた漁業者の立場を訴えました。

いわぶち、森両氏は「この問題の根本には未解決の領土問題がある」「ロシアに対し政府が適切な対応をとるよう働きかけを強めたい」と話しました。



根室漁協で濱松専務理事（右から2人目）らと懇談する（左から）森、いわぶち両氏＝6月9日、根室市

## 「スゴクいい候補」いわぶち、森両候補を囲む集いが大好評



ふたりを応援しようと集まった後援会員らでいっぱい会場＝6月11日、帯広市

いわぶち友比例候補、森つねと選挙区候補の道東キャラバンでは、各地の懇談会・演説会で、初めて見るいわぶち候補、立候補表明直後の森候補が語る熱い訴えがどこでも好評でした。

釧路市民文化会館で開かれた「講演と交流の夕べ」は180人が参加。帯広市とかち館で開かれた「ふたりを囲むつどい」では150人が参加しました。

帯広の会場で手作りの応援グッズを準備した後援会員らは、「いわぶち」コール、「つねと」コールを行って会場を盛り上げました。

参加者の女性は「二人ともスゴクいい候補。参院選勝利のためにがんばります」と話していました。